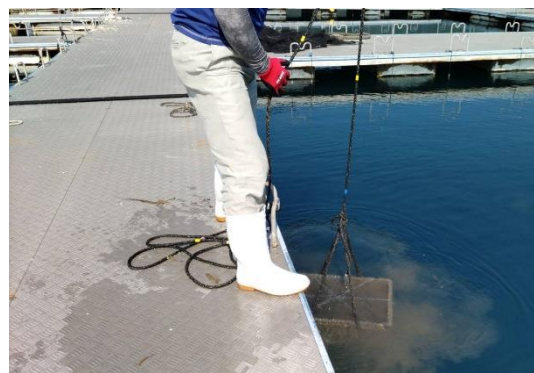


アサリの垂下養殖試験を開始

アサリの産地偽装が発覚して以降、純国産アサリの需要が高まっています。京都府では舞鶴湾、久美浜湾および阿蘇海で、京都府阿蘇海産のアサリ稚貝を用いた垂下養殖が営まれています。特に舞鶴湾ではアサリ養殖組合の発足により、ここ二、三年で参加者が増え、府内産養殖アサリの主産地となりつつあります。しかし、同湾におけるアサリ垂下養殖は始まったばかりで、高品質なアサリを効率的に生産するための養殖条件(垂下水深、養殖密度、養殖期間など)に関する知見が不足しています。そこで、海洋センターでは、これらを明らかにすべく、今年度から垂下養殖試験を開始しました。阿蘇海産アサリを親とし、当センターで生産した種苗を用い、7月から舞鶴湾および栗田湾(海洋センター施設)において、様々な条件下での養殖試験を実施中です。今後、3 年間で最適な養殖条件を明らかにするとともに、養殖マニュアルの作成により技術の普及を図っていきます。



垂下養殖試験の様子(左:飼育容器に収容したアサリ稚貝、右:飼育容器を海中に垂下)